

躍進する生長の家社会事業団

SEICHO-NO-IE-SHAKAI-JIGYODAN

創始者谷口雅春先生の願いを正しく受けつぎ、国と社会に貢献する事業を展開しています。

公益財団法人
生長の家社会事業団

〒186-0003

東京都国立市富士見台2丁目39-1

TEL: 042-843-0075 発行人: 久保 文剛

FAX: 042-843-0076 編集人: 佐々木憲彦



“人間神の子”の正しい生長の家の御教えを実践しよう!!

神の子に生まれ変わり日本を救う運動に立ち上がるう

理事 國弘 昭義

《今月拝読の御言葉》

谷口雅春先生

深切に愛情ふかく人々に

心を明るく、深切に、やさしく、愛情をもって人々に対しなさい。これがあなたの「心のレンズ」を透明にして人々の実相（人間が神の子であると）を顕わすものになるのであります。

多くの人は自分自身に気がつかないで、習慣的に、冷淡な心、ツツケンドンな言葉、面白くない表情、暗い顔附、何となく人を排斥するような態度で、折角、将来その人の有力な協力者となってくれる筈の人を遠ざけてしまっているのであります。

もっと愉快に、もっと深切に、もっと心を明るく、誰にでも、笑顔をもってつき合います。誰でも、明るさが好きなのです。深切が好きなのです。やさしい愛語が好きなのです。そしてそれを与えてくれるところへ集まって来ようとしているのです。

(新装新版『真理』第3巻71〜72頁)

昭和52年3月号の「明窓浄机」に、「拡大首脳者会議」における谷口雅春先生の結語が掲載されている。

尊師は、「神様の御意がそこに出て来なければ、本当に力ある運動はできない」と指摘されて、そのためには、信徒はみな練成を受け、浄心行や祈り合いの神想観によって魂が生まれ変わる必要があると、次のようにお説きになられた。

「生まれ変わるためには、あの『浄心行』を通して、過去の一切の悪業であるとか因縁であるとか、自分自身の生命を縛っていたところの迷のニセ物を、それをみんな焼いて、そして無くしてしまつて身軽にならなければならぬ。…自分は今や、神の子であり、霊の使徒であると自覚して、本当に身軽になつて動き出す。その生地ができるのが、これが浄心行であるわけです。」

とりわけ刮目すべきは、「以前、九州別格本山の練成の『祈り合いの神想観』のとき、私は、練成をしてもらう修行者として行きて、浄心行でも自分の迷やら、色々の私の懺悔みたいなものを書いて焼いて貰い、それから『祈り合いの神想観』に臨んだ。」と書かれていることである。尊師は御自ら浄心行を受けられ、祈り合いの神想観で祈ってもらわれたとお言葉。何と有り難い、勿体ないお姿であらうか。

次に尊師は、その年の新春練成会で「祈り合いの神想観」をご指導された時の様子を活写されている。

—住吉大神の御出御をお祈りする「ア・オ・ウ・エ・イ」の音が響き、「神の癒す力が、さんさんと輝きながら、今皆さんの内に流れ入りつつある…」との祈りの言葉が唱え続けられると、すすり泣きがちこちから聞こえてきて、やがてそれが大きな声となり、道場全体が法悦の号泣となった。

尊師はかく説かれる。「ああいう状態になつて涙を流した人は、その流す涙で、もう既に浄められた自分が再び浄め終つて、人間が生まれ変わると、私は思う。病氣だつた人はきつと治つている。癌であろうが何であろうが、ああして号泣して、そして法悦にむせぶという状態になると、今迄の肉体人間というものがいなくなつてしまつて、霊の神の子の実相というものが現れずにはいないということを感じました。」

この「拡大首脳者会議」の結語は、「幹部みな本当に生まれ変わつて、日本国の救国再建のために活動して頂きたい」との切々たるお言葉で結ばれている。

永遠の谷口雅春先生を仰ぐ私達は、今こそ練成会を受講して生まれ変わる時。時空を超えて響く尊師のお言葉に耳をすませながら、天皇国日本の実相顕現のために力を尽くして参りたい。(尊師三十九年祭にあたり)



尊師が愛でられた紫陽花の花咲き誇る「谷口雅春先生報恩全国練成道場」

第8回 谷口雅春先生報恩全国練成会

北海道、沖縄はじめ全国各地より 109名参集!!

北海道、福島県、茨城県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県、山梨県、長野県、新潟県、石川県、静岡県、愛知県、岐阜県、兵庫県、岡山県、島根県、山口県、高知県、福岡県、熊本県、沖縄県からご参加いただきました。



安東巖先生、高倉俊治先生を囲んで記念撮影——皆、よろこびに輝いて(2日目)

5月31日から6月2日まで、ゲスト講師に安東巖先生、高倉俊治先生をお迎えし、「第8回谷口雅春先生報恩全国練成会」が開催されました。全国22都道府県より一〇九名の方々でご参加ください、このたびも神界の谷口雅春先生のみ愛につつまれた「神癒の練成会」となりました。

参加者感想文より

天皇国日本のために働くことこそ私の使命

石川県 塩谷 幸子(73歳)

この練成会に参加したのは、視力が0.01になり、緑内障と白内障の手術を受け0.2まで快復しましたが、少しでも良くなればという思いでした。

しかし、3日目の高倉先生の「天皇国日本の素晴らしさと住吉大神の使命」の講話をお聴きして、自分のことで悩んで右往左往していることが恥ずかしくなりました。英霊の方々の奮闘がなければ、今ここに私の生命さえなかったかもしれないと思うと有難く感謝で涙が溢れました。もう、目が見えようと見えまいとどうでもいい。この日本のために働くことこそ私の使命なのです。家に帰ったら、この練成会に参加させてくれた御礼を主人に伝え、愛深い妻になります。

人の幸福を祈る幸福

山梨県 番場 健一(69歳)

自分は何の問題も無い。考えてみれば何の問題も無いのは、なんて素晴らしいことなのか。そのことに全く感謝していない自分に気がつきました。当たり前が本当に有難いことなのだ。感謝が足りなかった自分を反省しました。又、3日目の「祈り合いの神想観」では祈る側にて真剣に祈ることができ、大量の涙が溢れてきました。今まで自己中で生きてきた自分。人の幸福を祈ることがこんなに素晴らしい事なのかと再認識させていただきました。

不安、恐怖から解放されました

不安、恐怖から解放されました

埼玉県 伊藤 吉男(仮名)(48歳)

10年程前から続いていた左耳の難聴と耳鳴りが、今年の4月頃突然悪化し、耳鼻科を受診したところ「突発性難聴」と診断されました。治療を受けましたが改善せず、一日中続く耳鳴りに悩まされ、不安と恐怖から抑うつ状態となり、日常生活に支障をきたしておりました。

そんな中、母の勧めもあり練成会に参加しました。私自身は中高生頃までは練成会に参加していましたが、仕事(皮膚科医師)をするようになってからは遠ざかっていました。高倉先生の「病気の症状にとらわれるのではなく、他にできる事に感謝しなさい」とのお言葉にハッとさせられました。長らく現象世界の生活にどっぷりとはまり、感謝も、笑いも忘れていたことに気づかされました。症状の一点にとらわれていた感情から解放され、不安、恐怖の気持ちが落ち着き、前向きな気持ちになりました。

練成後も神想観を実修し、『生命の實相』を読み、神様に寄り添った生活を送っていきたくと思います。

主人の実相を観て拝める自分に

長野県 上條 啓子(66歳)

いくら行をやり続けてもなかなか心の迷いが取れませんでした。

2日目、「人間神の子」―病なし、迷いなし、罪なしの安東先生のご講話の中で、運命を変える3つの実践すべきことを教えていただきました。そのひとつに「ゆるすこと」があり、自分自身ができていたように思いました。しかし、一番身近にいる主人をゆるしていません。臭いところにフタをして表面の体裁をつくっていたことに気がつきました。「真実の人間は肉体的存在ではなく神の生命」、主人の実相を観て真に拝める私になるために努力いたします。

数十年分の教えをいただきました

熊本県 金田 徹也(55歳)



社長の勧めで参加させて頂きましたが、練成を受けて感謝の心が足りなかったことに気づかされました。又、笑いについても、これほど笑ったことはありませんでした。生長の家の教えでこんなに沢山の人が救われていることがわかり、月並みな言葉ですが、凄いなと思いました。

私は会社では指導し教える立場ですが、講師の先生方のご教示を受けて、「どの口が言っていたのか」と初心に戻られました。二泊三日、正味二日間、数十年分の教えをいただいた練成会となりました。

幸福とは調和の状態である

愛知県 大場 煌一郎 (19歳)

先祖供養祭や浄心行を実修する中で、今まで以上に両親や先祖に感謝することができました。心に残った言葉は、高倉先生の「幸福とは調和の状態である」とのお言葉です。人間関係や大学での学習についても調和のとれた状態となるように常に感謝を忘れず、全ての人、もの、こととの幸福を祈りたいです。

今後は谷口雅春先生のお説きくださった真理とともに学べる大学生の同志を集めるべく、率先して聖經読誦と神想観を毎日実修することを決意します。

本物の練成会は感動の連続

山口県 松本 大樹 (44歳)

このたび「谷口雅春先生を学ぶ会」に入会し、初めて全国練成会に参加させていただきました。

これまで山口県の松陰練成会、宇治や総本山の練成会に参加してきましたが、谷口雅春先生がいらっしゃるこの全国練成会は、一つ一つの講話、行が感動の連続でした。日本や天皇陛下様の素晴らしさの講話の中で、久しぶりに本物の真理を学ばせていただきました。

今後は山口県の事務局長として、学会と社会事業団の発展の為、活動に邁進させていただきます。

今回の全国練成会ご案内

令和6年 9月14日(土) ~ 16日(祝日)
ゲスト講師をお二方お招きする予定です。

《講師》久保文剛・熊本司・國弘昭義

岡村佳明・木下千鶴子・井関隆文

※詳細は同封のチラシをご覧ください。

盂蘭盆には多くの霊牌を供養し ご先祖様へ感謝の誠を捧げましょう!!

まもなく盂蘭盆を迎えます。ご先祖様お一人一人にまごころからの感謝と、みたま様の向上を願ってこれまでの最高の多くの霊牌をお書きください。

○夫の父方母方四家、妻の父方母方四家の先祖代々の霊牌は、ご自分のいのちや子供たちのいのちに連なる方です。から大切にお書きください。

盂蘭盆はご先祖様に真理を お伝えする最高の機会

熊本 司 (第5回)

生長の家独特の 霊牌供養の素晴らしさ

幸福な人生はご先祖様と 感謝のアンテナでつながること

もうすぐ盂蘭盆の季節がやってまいります。これは七月八月に日本中で行われる夏の風物詩で、精霊流しなど地域ごとに色々な伝統行事が行われています。仏教的にはこのお盆には、ご先祖様が帰ってこられるから、施餓鬼といつて、沢山のご馳走をご仏前などにお供えするというご家庭が多いようです。

前回の本欄でも、先祖供養はご先祖様や亡き方々のことを思い起こして、そのご霊前に物施や法施を行うこと、その最高の供養が聖經『甘露の法雨』や『天使の言葉』を読誦することと申しました。

その最高の供養は、仏壇や厨子の中に固定されたお位牌などではなく、清浄な紙に作られたお位牌に俗名やわかっている方の昇天年月日を書いて供養する方法です。この清浄な用紙を霊牌といい、「生長の家社会事業団」

や「谷口雅春先生を学ぶ会」に送ると、その送られた霊牌は、先祖供養祭において招霊され、八月の「浄火のみまつり」まで毎日、丁寧な供養が行われます。

幸福な人生はご先祖様と 感謝のアンテナでつながること

先に申しましたように、特に七月八月は盂蘭盆として全国から何十万という霊牌が奉安され、みたま様にとっては又一つの生まれ更りの経験となるみ祭り、島根県の大年神社で行われています。

私達が、素晴らしい幸福な人生を送るためには、ご先祖様や亡き方と感謝のアンテナでつながることです。この盂蘭盆供養の時期に、全てのご先祖様や亡き方々の霊牌の奉納を行いましょ。

盂蘭盆には多くの霊牌を お書きください

七月八月の盂蘭盆の季節は、霊牌という霊的アンテナを通して、ご先祖様や故人に感謝の思いと、最高の真理をお伝えする最高のときです。できる限り多くの霊牌をお書きください。そして素晴らしい人生へと前進してまいります。

尚、詳細は谷口雅春先生が『新版人

生を支配する先祖供養』の「祖先供養及び霊魂祭祀の祭式及び儀礼」(70頁~74頁)に説いておられますのでお読みください。

先祖供養祭の日程

7月28日(日) 午前11時~

※今年の「霊牌浄火のみ祭り」(8月19日・大年神社)に出される霊牌は、7月27日までに着くようお送りください。

8月25日(日) 午前11時~

※来年の「霊牌浄火のみ祭り」まで一年間毎日、聖經『甘露の法雨』で丁寧な供養を行います。

◇会場は「谷口雅春先生報恩全国練成道場」

島根県大年神社における「霊牌浄火のみ祭り」

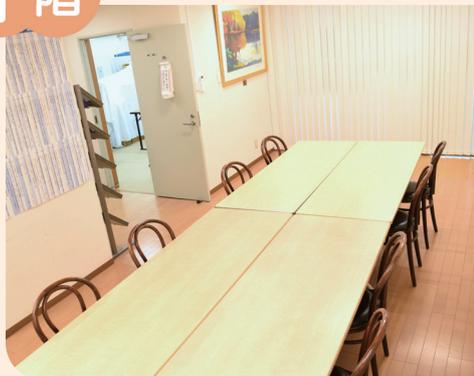


浄火のみ祭り、みたま様は生まれ更りを経験し、浄化向上の機会を得られる。

谷口雅春先生記念図書資料館 リニューアルオープン!

谷口雅春先生記念図書資料館の使命は「谷口雅春先生の全著作を永遠に後世に伝え弘めること」。当館はこの使命を実現するため、このたび皆様の尊いご支援により、さらに誰でも利用し易く、多くの人が集える場に生まれ変わりました。

1階 閲覧室



▲広く使いやすくなった閲覧室



▲戦前のもも含む谷口雅春先生のご著作、神誌

2階 書庫



◀永久保存書庫

▶大切に保管されている立教当時から神誌



3階 祈りの間



◀綺麗に改装された祈りの間

屋上 榊の植木で囲まれた 龍宮住吉本宮社殿



◀神示が天降った日に「神示祭」が厳修されます

行事

『生命の真相』輪読会（毎月22日）、
『真理』勉強会（毎月第1土曜日）、
古事記勉強会を行っています。この
他、月2回一般開館日があります。
皆様も是非ご来館ください！



アクセス



谷口雅春先生記念
図書資料館
(全国練成道場から徒歩15分)
.....
東京都国立市
富士見台3丁目31-14
最寄り駅：
JR南武線 矢川駅(徒歩3分)

7月の行事日程

日程	行事	時間	場所
1(月)	月始め感謝祭 聖使命奉讃会感謝奉納祭	10時半～	道場
4(木)	図書資料館一般開館日	11～15時	図書館
6(土)	『真理』勉強会(熊本司講師)	13時半～	図書館
7(日)	萬教包容の神示祭	11時～	社殿
11(木)	図書資料館一般開館日	11～15時	図書館
22(月)	谷口雅春先生謝恩祭 『生命の真相』輪読会	11時～ 13時半～	社殿 図書館
28(日)	物故者顕彰慰霊 先祖供養祭	11時～	道場

「場所」欄の「道場」は全国練成道場、「図書館」は図書資料館、「社殿」は同屋上の龍宮住吉本宮社殿です。どなたでも自由に参加できます。

8月の行事日程

日程	行事	時間	場所
1(木)	月始め感謝祭 聖使命奉讃会感謝奉納祭	10時半～	道場
5(月)	本當の信仰に就いての神示祭	11時～	社殿
8(木)	図書資料館一般開館日	11～15時	図書館
12(月)	懺悔の神示祭	11時～	社殿
17～19	孟蘭盆供養霊牌浄火のみ祭り	学ぶ会に合流	大年神社他
22(木)	谷口雅春先生謝恩祭 『生命の真相』輪読会	11時～ 13時半～	社殿 図書館
25(日)	物故者顕彰慰霊 先祖供養祭	11時～	道場
29(木)	図書資料館一般開館日	11～15時	図書館

生長の家社会事業団は、谷口雅春先生の正しい御教えを伝えるあらゆる団体、人々を支援しています。

住吉大神の祝福燦々と降り注ぎ給う
「神癒・聖經供養」祈願
問題解決、神癒の体験続々と!

神様の祝福に包まれた幸福人生を招く
「聖使命奉讃会」(月額一口1,000円)
にご入会ください。

聖典『生命の真相』、聖經『甘露の法雨』を
永遠に護り抜くために!!
「生長の家社会事業団 創立記念事業特別献資」に
ご協力ください。(詳しくは同封のチラシをご覧ください)

つまづき 躓きはまた私の心の眼を開いてくれるものである。もし、今少し手前で躓かなかつたら、自分の今歩いている道が、谿底へ落下する道であることに気が着かなかつたかも知れないのである。(新編『生命の真相』第60巻 幸福篇143頁)